



図書館通信

中高生版 2023年1月号 No.19

図書館ニュース

明けましておめでとうございます

今年もみなさんに、心に残る本との出会いがあることを、お祈りします。

受験生のみなさんは、本番に向けて体調管理に気を付けながらお過ごしください。そして、たまには息抜きに読書を！



寒い日がつづきます

換気のため、窓を開けています。体を冷やさないう、防寒着を多めに用意するなど、体温調節をしやすい服装でご来館ください。



新着図書

<YA・小説>

『給食アンサンブル ②』 『手で見ると世界は』

如月 かずさ／作
五十嵐 大介／絵
光村図書出版

<YA・小説>

椋崎 茜／作
酒井 以／装画・挿絵
くもん出版

<YA・小説>

『ひこぼしをみあげて』

瀧羽 麻子／作
今日 マチ子／絵
偕成社

<YA・ノンフィクション>

『命のスケッチブック』

中谷 加代子／語り
小手鞠 るい／構成・文
静山社

<YA・哲学>

『13歳からの「集中力」
向上バイブル』

森 健次朗／監修
メイツユニバーサルコンテンツ

<YA・哲学>

『きみを変える50の
名言 3期 ①』

佐久間 博／文
ふすい／絵 汐文社

<YA・社会>

『情報学部』

漆原 次郎／著
ペリかん社

<YA・工学>

『宇宙飛行士』

鈴木 喜生／著
朝日新聞出版

<YA・農業>

『いちばん大切な食べ
ものの話』

小泉 武夫、井出 留美／著
筑摩書房

<YA・家畜>

『ウシのげっぷを退治
しろ』

大谷 智通／著
小林 泰男／監修 旬報社

図書館
カレンダー

この印が休みの日です

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

2月の館内整理日は2月15日です。注意してね！

開館時間 10時～18時



本を入れる
バッグを
持ってきてね！

今月の特集コーナー

<児童書テーマ> 「今年**は**「ウサギ」

『アリスのうさぎ』

(齊藤 洋/作 森泉 岳土/絵 借成社)



図書館の児童読書相談コーナーには、読書に関する相談以外に、奇妙な話も集まってきます。「あかり」という名前の子の話は、山で突然現れたうさぎを追いかけて穴の中に入ってしまうという、まるで『不思議の国のアリス』のような体験でした。

<一般書テーマ> 「**デジタル革命**しちゃう？」

『おかんメール①、②』

(『おかんメール』制作委員会/編 扶桑社)

メールに句読点や絵文字を使ったり、長文を送ったりすると「おやし構文」と笑われるそうですね。そのため若い人にメールを送るとき、つい緊張してしまいます。しかしこの本に出てくる母親たちは、そんなことはまったく気にせず「美味しかったよ叩」など間違ったメールを、あふれんばかりの愛情を込めて送ります。少しうらやましいです。

他にも「**成人の日**」特集や、昨年1年分の「**図書館員おすすめの本**」も特集展示しています。

はっさくさんの本棚



<このコーナーの主>
ミックンのおじいちゃん
はっさくさん

今月は12月3日にミライ ON 図書館で行われた「第2回 長崎県中学生ビブリオバトル」の様子をお届けします。

中学生がバトラー(発表する人)として戦うビブリオバトルに、わしはオーディエンス(観戦しチャンプ本を選ぶ人)として参加したよ。

本を紹介するときは、身振り手振りを加えたり、本の挿絵を見せながら話すなど工夫を凝らしておったよ。

ここでわしは、バトラーのみなさんに共通する点が3つあることに気づいた。

1つ目は、好きになった本との出会いは偶然だ、ということじゃ。紹介した本は総合学習や読書タイムに必要な本を探していた時に見つけたと話していたよ。みんなも本と出会うきっかけを、たくさん作ってほしいのう。

2つ目は、人に興味を持っていることじゃ。「登場人物のこういうところが好き」と堂々と発表する姿に、わしは人の個性や立場、意思などを受け入れて理解しようとする姿勢を感じた。人に関心を持ち、良いところを認めようと努力するって、大事だね。

3つ目は、本を通して未知への扉を開いていることじゃ。難しい社会問題について、本を読んで得た知識で自分なりの答えを探しておったよ。

チャンプ本に選ばれた『同志少女よ、敵を撃て』も、まさにそうじゃった。この本を紹介した有田さんは、平和学習をきっかけにこの本と出会った。そして戦闘に加わった人たちも、自分たちと同じような一般の人だったことに衝撃を受けたそうじゃ。500ページ近い大作じゃが、わしも一気に読んでしまった。そして今世界で起きている悲しい争いのことを考えたわい…。

「はっさくさんの本棚」で紹介された『同志少女よ、敵を撃て』(逢坂冬馬/著 早川書房)は、長与町図書館で借りることができます。